

初級、1級、2級における競技課題について

(一社)日本学生氷上競技連盟

日本スケート連盟より無級から2級までのISUジャッジングシステムのウェルバランスのガイドラインが示されたことを受けて、初級から2級までの競技について以下のウェルバランスで競技を実施致します。

1. 課題の明確化

A. ジャンプ

ワルツ・ジャンプは初級、1級、2級においてベースバリュー0.30で認定する。1Aのダウングレードはワルツ・ジャンプにならずノーバリューのジャンプとなる。禁止とされているジャンプを実施した場合はノーバリューとする。ノーバリューであってもジャンプの枠は使ったものとする。

B. スピン

全てのスピンはフライング、足換えは任意。レベルB(ベーシック)で評価する。1ポジションのスピンについて、基本姿勢が2回転以上ある場合はレベルBとして判定されるが、基本姿勢が5回転未満の場合は必須回転数に満たないものとしてGOEでマイナス評価される。

C. ステップ・シーケンス

シーケンスの長さは1/2以上あれば認定する。1/2に満たなければノーレベル。レベルBで評価する。

2. 各級の課題

- ・ 初級 1分±10秒 PCS: SS, PE, IN ファクター: 1.2 (全PCS共通) 転倒: -0.2

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類であること(回転数が異なっても同じ種類とする)。*ダブルジャンプは禁止とする。

b) スピン要素 最大1

1ポジションのスピン。

- ・ 1級 1分±10秒 PCS: SS, PE, IN ファクター: 1.5 (全PCS共通) 転倒: -0.2

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ 2 個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類であること(回転数が異なっても同じ種類とする)。*ダブルジャンプは禁止とする。

b) スピン要素 最大 1

1 ポジションのスピンの。

c) ステップ・シーケンス 最大 1

・ 2 級 2 分±10 秒 PCS : SS, PE, IN ファクター : 1.8 (全 PCS 共通) 転倒 : -0.2

a) ジャンプ要素 最大 4

ジャンプ 2 個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを 2 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類、第二ジャンプは異なった 2 種類であること(回転数が異なっても同じ種類とする)。1 つはアクセル型ジャンプでなくてはならない(ワルツ・ジャンプもアクセル型)。同じ種類のジャンプは 2 個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)。

b) スピン要素 最大 2

1 つは 1 ポジションのスピンの。

1 つはスピン・コンビネーション。

c) ステップ・シーケンス 最大 1